



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場会社名 アクリーティブ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8423 URL <http://www.accretive.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 菅原 猛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務部長

(氏名) 高山 浩

TEL 03-3552-8701

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,935	25.1	882	30.5	894	26.0	773	21.1
27年3月期第2四半期	1,547	8.1	676	16.9	709	16.4	638	3.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 780百万円 (21.8%) 27年3月期第2四半期 641百万円 (△2.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	18.04	—
27年3月期第2四半期	14.89	—

(注) 平成27年3月期第2四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
28年3月期第2四半期	21,618	—	6,111	—	28.3	142.58
27年3月期	20,894	—	5,428	—	26.0	126.66

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 6,111百万円 27年3月期 5,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	2.30	2.30
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.90	2.90

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,900	16.6	1,570	8.4	1,600	7.7	1,530	5.1	35.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	43,427,500 株	27年3月期	43,427,500 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	566,800 株	27年3月期	566,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	42,860,700 株	27年3月期2Q	42,860,700 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府主導による金融緩和や経済政策の効果等を背景に、企業収益や雇用情勢に改善の兆しが見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化や欧州経済の不安定化といった懸念すべき事項も多いことから、本格的な景気回復までには至っておらず、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社グループは従来から取り組んでいる売掛債権の早期買取や融資等の金融サービス、支払い業務やレジオペレーション業務等のアウトソーシングサービスに加え、成長著しいインバウンド市場に向けたソリューション提供やタイにおける新たなビジネスラインの拡張に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、債権取扱高95,558百万円（前年同四半期比11.9%増）、営業収益1,935百万円（前年同四半期比25.1%増）、営業利益882百万円（前年同四半期比30.5%増）、経常利益894百万円（前年同四半期比26.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益773百万円（前年同四半期比21.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第2四半期連結累計期間の分析は、変更後の区分に基づいております。

①アセットビジネス事業

医療・介護分野の債権取扱高増加、タイでの事業拡大等により、セグメントの営業収益は985百万円（前年同四半期比11.6%増）、営業利益は527百万円（前年同四半期比18.8%増）となりました。

②ソリューション事業

既存業務の拡大に加えて、前第2四半期連結会計期間に新たに開始したレジオペレーション業務の受託により、セグメントの営業収益は904百万円（前年同四半期比44.6%増）、営業利益は512百万円（前年同四半期比29.8%増）となりました。

③その他

セグメントの営業収益は60百万円（前年同四半期比16.1%増）、営業利益は32百万円（前年同四半期比31.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ723百万円増加し、21,618百万円となりました。これは主に買取債権の増加によるものであります。なお、買取債権のうち債権売却によって流動化されている買取債権残高は2,298百万円であります。

負債については、前連結会計年度に比べ41百万円増加し、15,507百万円となりました。これは主に海外子会社の短期借入金の増加によるものであります。

純資産については、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ682百万円増加し、6,111百万円となりました。

(連結キャッシュ・フローに関する定性的情報)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、有利子負債の増加により、前連結会計年度末に比べ211百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末における資金残高は5,883百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は304百万円（前年同四半期は1,590百万円の使用）となりました。これは主に営業貸付金の回収によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は158百万円（前年同四半期は550百万円の使用）となりました。これは主に有価証券の償還による収入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は268百万円（前年同四半期比64.3%減）となりました。これは主に短期借入金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月7日付決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,671,324	5,883,029
買取債権	11,533,630	12,491,024
営業貸付金	1,601,091	1,412,765
売掛金	653,491	581,626
有価証券	184,160	—
その他	368,171	372,850
流動資産合計	20,011,871	20,741,296
固定資産		
有形固定資産	53,207	66,318
無形固定資産		
のれん	252,103	245,002
その他	42,957	44,585
無形固定資産合計	295,060	289,588
投資その他の資産		
その他	534,490	521,251
投資その他の資産合計	534,490	521,251
固定資産合計	882,758	877,157
資産合計	20,894,629	21,618,454
負債の部		
流動負債		
買掛金	436,640	443,382
短期借入金	2,951,150	3,190,480
1年内返済予定の長期借入金	9,975,000	9,712,500
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
未払法人税等	113,177	116,112
預り金	295,391	512,273
賞与引当金	43,876	49,038
その他	320,520	303,883
流動負債合計	14,435,755	14,627,669
固定負債		
長期借入金	400,000	400,000
社債	600,000	450,000
その他	30,037	29,647
固定負債合計	1,030,037	879,647
負債合計	15,465,792	15,507,317
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,224,823	1,224,823
資本剰余金	2,999	2,999
利益剰余金	4,220,746	4,895,172
自己株式	△73,684	△73,684
株主資本合計	5,374,884	6,049,311
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,155	38,733
為替換算調整勘定	5,796	23,092
その他の包括利益累計額合計	53,951	61,825
純資産合計	5,428,836	6,111,137
負債純資産合計	20,894,629	21,618,454

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業収益	1,547,405	1,935,712
金融費用	84,131	77,641
販売費及び一般管理費	786,964	975,313
営業利益	676,308	882,757
営業外収益		
受取利息	743	626
受取配当金	32,543	33,678
受取地代家賃	8,831	8,831
その他	5,746	647
営業外収益合計	47,864	43,784
営業外費用		
為替差損	—	19,005
社債利息	6,565	4,918
賃貸費用	7,665	7,665
その他	—	297
営業外費用合計	14,231	31,887
経常利益	709,942	894,653
特別損失		
固定資産除却損	—	475
特別損失合計	—	475
税金等調整前四半期純利益	709,942	894,178
法人税、住民税及び事業税	74,391	123,900
法人税等調整額	△1,544	△2,727
法人税等合計	72,846	121,172
四半期純利益	637,095	773,006
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,233	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	638,329	773,006

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	637,095	773,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,330	△9,422
為替換算調整勘定	△9,399	17,295
その他の包括利益合計	3,931	7,873
四半期包括利益	641,026	780,879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	644,170	780,879
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,144	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	709,942	894,178
減価償却費	13,485	14,405
のれん償却額	7,100	7,100
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,716	△3,750
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,603	5,162
受取利息及び受取配当金	△33,286	△34,304
社債利息	6,565	4,918
買取債権の増減額(△は増加)	△1,909,512	△961,946
売上債権の増減額 (△は増加)	△432,699	71,865
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△484,087	188,326
長期営業債権の増減額(△は増加)	10,213	7,346
仕入債務の増減額 (△は減少)	388,895	6,741
未払金の増減額 (△は減少)	16,354	14,471
預り金の増減額 (△は減少)	101,283	217,562
前受収益の増減額 (△は減少)	9,209	△2,979
未払消費税等の増減額 (△は減少)	18,305	△27,480
その他	6,150	△5,815
小計	△1,568,195	395,801
利息及び配当金の受取額	33,286	34,304
利息の支払額	△6,203	△4,569
法人税等の支払額	△49,821	△121,358
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,590,934	304,178
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△686,000	—
有価証券の償還による収入	139,520	184,160
有形固定資産の取得による支出	△407	△16,609
無形固定資産の取得による支出	△3,795	△9,052
差入保証金の差入による支出	△234	△200
差入保証金の回収による収入	—	136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△550,915	158,433
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△339,550	243,150
長期借入金の返済による支出	△262,500	△262,500
社債の償還による支出	△150,000	△150,000
配当金の支払額	—	△98,579
その他	△389	△389
財務活動によるキャッシュ・フロー	△752,439	△268,319
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,872	17,412
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,903,162	211,705
現金及び現金同等物の期首残高	7,269,646	5,671,324
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,366,483	5,883,029

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アセット ビジネス	ソリュー ション	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	882,745	612,587	1,495,333	52,071	1,547,405	—	1,547,405
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	12,600	12,600	—	12,600	△12,600	—
計	882,745	625,187	1,507,933	52,071	1,560,005	△12,600	1,547,405
セグメント利益	444,150	394,774	838,924	24,360	863,284	△186,976	676,308

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社サンアソートにて保険代理店事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△186,976千円は、セグメント間取引消去及び全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アセット ビジネス	ソリュー ション	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	985,084	890,175	1,875,260	60,452	1,935,712	—	1,935,712
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	14,119	14,119	—	14,119	△14,119	—
計	985,084	904,295	1,889,379	60,452	1,949,832	△14,119	1,935,712
セグメント利益	527,797	512,477	1,040,274	32,074	1,072,348	△189,591	882,757

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社サンアソートにて保険代理店事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△189,591千円は、セグメント間取引消去及び全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、当社グループの事業セグメントは、債権買取による金融サービスとアウトソーシングを融合させた「FPS事業」と損害保険の代理店業務、生命保険の募集に関する業務を行う「保険代理店事業」の2区分としておりましたが、企業間の決済に留まらない広範囲なニーズに対応したサービスの開始等により、アウトソーシングの重要性が高まってきたことから、セグメント区分の見直しを行い、「FPS事業」を「アセットビジネス事業」、「ソリューション事業」の2区分に変更しております。

この変更により、事業セグメントを「アセットビジネス事業」、「ソリューション事業」、「保険代理店事業」とし、「保険代理店事業」を「その他」として表示しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の報告セグメントにより作成したものを記載しております。